

【るもい農業情報広場】

令和6年5月1日

R6-5月号

QRコードを読み取って
アクセス!!!

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



畑作・園芸編も
HPで公開中!

苗の霜害に注意してください!

今春は寒暖差が激しい気象条件となっており、育苗に気をつかうことが多い事と思っております。5月9日(木)には最低気温が0度前後まで下がる予報となっており、霜害の発生が懸念されます。

稲の苗の霜害は、苗が凍って内部の水分が失われることで枯れた状態になります。以下に示した対策を万全にして、霜害を防止しましょう。

(1) 霜害が起きやすい条件は?

ア 翌朝の予想最低気温が3~4℃以下のとき。

イ 夜間が晴れて風が無いとき(特に、風が冷たく夕方から晴れたとき)。

(2) 霜害の予防について

ア ハウスを閉める時間を通常より早め、ハウス内の温度を確保する。

イ トンネルを掛けるか、シルバーポリなどで苗を覆う。

ウ ハウスやトンネルに隙間があると、被害が大きくなるので注意する。

エ 苗床が乾燥している場合は灌水する(土壌水分が高い方が被害は軽減される)。

(3) 霜害に遭ってしまったら

ア 早朝に苗が凍っていたら、散水してゆっくりと解凍する。

イ 葉先枯れ等で苗質が低下した場合は、冷たい風を避けて回復を図る。

ウ 追肥や葉面散布については、被害直後は効果が低いので、回復後に実施する。

~天気が悪い日は休むことも。無理やあせりは農作業事故のもと~